

このメールはCMアソシエイトにご登録いただいた方々へ配信しております。CMアソシエイトは、様々な立場でCMに関わりご興味をお持ちの方々に、幅広くCMAJや関連の情報発信やイベント参加の機会等を提供しています。関心をお持ちの方へのお誘いや、[こちら](#)←のご案内をお渡し頂くこと、このメールを転送頂くことは大歓迎です！

---

## ◎新着トピックス

### ◆年頭所感

皆さま、明けましておめでとうございます。今年もメルマガ配信を通して、皆さまにCMの魅力についてお届けできればと思います！ 配信の閲覧やリンク先のクリックを積極的に頂けると励みになりますのでよろしくお願いいたします。以下、川原会長の年頭所感の要約になります。

現在の建設産業は繁忙であり、投資額がバブル期に迫る勢いですが、従事者の減少と高齢化、働き方改革の導入により技術品質の維持が困難になっています。価格高騰も業界を圧迫しています。この課題を乗り越えるには、サプライチェーン全体での生産の見直しと効率化が必要であり、建設サプライチェーンのあり方を改革することが急務です。事業の各段階での協力と知恵の共有がこれからの主流になり、CMが重要な役割を果たすと予測しています。今年も日本CM協会は、魅力的な産業づくりに貢献できるように邁進していきます。

詳しい内容を確認されたい方は、[こちら](#)をご覧ください。

### ◆2023年度 認定コンストラクション・マネジャー試験 合格発表

今回の認定コンストラクション・マネジャー試験では、558名の受験者の中から119名の方々が合格されました。合格率は23.3%です。昨年度新たにCCMJ、ACCMJになられた方々、おめでとうございます。CMの世界を一緒に盛り上げていきましょう！

### ◆第3回CMエッセイコンテスト受賞者決定！

2月5日に、第3回CMエッセイコンテストの表彰式が執り行われました。

今年度は、「"〇〇〇"×マネジメント」として、掛け合わせ効果を期待し、学生の方々の思うマネジメントを自由に募集いたしました。建築を志す学生のみならず、広い分野の学生の多様な切り口のエッセイが集まりました！

受賞者および会長の講評は、協会HPにて発表しておりますので[こちら](#)を参照ください！

以下、2月5日の授賞式の様子です。賞状授与の後、協会会長および審査委員の方々とマネジメントについて語り合いました。



#### ◆建設技術展2023年関東・C-XROSSのご報告

日本CM協会は、2023年11月15日～16日に開催された建設技術展2023関東（Construction-Xross2022）に出展しました。2022年に続き、2度目の出展となります。会場には13,300名の方が訪れました。

当日はCM協会ブースも多くの方々に訪問いただき、コンストラクションマネジメントへの理解を深めていただきました。足をお運びいただいた皆様、誠にありがとうございました。

また、16日には、特別イベントとして、ステージで「新社会人の私たちが考える、マネジメントのこれから」と題したパネルディスカッションを実施。当協会の川原秀仁会長と新社会人の5名に登壇いただき、マネジメントの未来についてお話いただきました。



パネルディスカッションの様子

今回は、16日のパネルディスカッションでファシリテーターを務めた杉浦智也様からコメントをいただきましたのでご紹介します。

杉浦様：

会場を埋め尽くすほどの大勢の来場者の前で、新社会人の皆さんは緊張しながらも生き生きと語られていました。そんな彼らの姿を見て、来場の方一様に「感心した」「共感した」「刺激を受けた」との感想を頂きました。様々な業界や年代の皆様がマネジメントに興味を持っていただく機会になったのではないかと考えております。

### ◎CMアソシエイトホームページのご紹介

◆座談会動画を公開しています！

アソシエイト委員では、若手CMRと様々な建築に関わるエキスパートの座談会動画を公開しております。最新の動画では、グラフィックデザイナーの廣村正彰氏をゲストとしてお招きし、「建築と人を繋ぐデザイン」をテーマにお話していただきました。

#### 【これまでの座談会動画】

第1回ゲスト 番匠カナナ氏（バーチャル建築家）

第2回ゲスト 安東陽子氏（テキスタイルデザイナー・コーディネーター）

第3回ゲスト 岡安泉氏（照明デザイナー）

第4回ゲスト 村上祐資氏（極地建築家）

第5回ゲスト 廣村正彰氏（グラフィックデザイナー）

---

ご登録された皆様には、おおよそ月1回のペースで、メールマガジンの送付をさせていただきます。CM業務にまつわる情報や、建築、アート、都市、環境などをテーマにリレーコラムなどをお届けしたいと思いますので楽しみいただければ幸いです